

那須山麓米

稲刈り交流会に行ってきました！

「那須山麓米」の利用を増やすことを目的として発足した「米プロジェクト」チーム。今回9名が稲刈り交流会に参加しました。



豊かな自然と美しいみずのある那須山の麓

栃木県北部にあたる「どではら会」の田んぼの水は、樹齢100年を超えるブナ、ミズナラなどの自然林が生い茂る森「七千山水源の森」からの澄んだ湧水が那珂川を通して水田に流れ込んでいます。日本三大疎水のひとつ「那須疎水」があり、森の少し下流には「那須疎水公園」として整備されており憩いの場になっています。

スケジュール

- 9/26(金)
- アグリセンター黒磯
- 黒磯ライスセンター
- 生産者荒井さん宅訪問
- 9/27(土)
- 女性部と交流会準備
- 稲刈り
- 食事と交流会

どではら会と一緒に米作り 今年で34年目

どではら会のメンバーは27名

栃木管内の農家の中では田んぼの面積も広く、収量も大きい大規模農家です。各自で田植え機や稲刈り機を持ち、更に自宅に米の乾燥機・調整する機械も設置しています。機械自体高価で、維持費もかかります。どではら会では、私たちがお願いしている減農薬減化学肥料ということだけでなく品質にもこだわり、色彩選別機を購入したり、調整でくず米とわかる基準をJAの基準1.7mmよりも厳しい1.9mmに設定し、しっかりと粒を選別しています。ひとり1人が誠実に、誇りを持ってこだわった米作りをされていることがお話しから伝わってきます。



稲刈りの様子



食事と交流会の様子

